

策として、低所得世帯と帯に給付金を支給

条例の一部改正や補正予算など21件を審議!!

行政報告に対する



質疑と答弁



問 志民 和義 議員

12月任用の地域プロジェクトマネージャーの業務内容は。

答 黒川町長

企画部門に山積する課題をサポートする業務。具体的には、脱炭素・*自治体DX・航空宇宙等の取組について、国の補助金の申請等に使用する企画書の作成・計画策定の補助を行う。

Point!

地域プロジェクトマネージャーとは…

地域の活性化や自治体DXの推進など、重要プロジェクトを担う人材を地域に呼び込むための支援策として、国が創設した制度。任用経費は、特別交付税として町に交付されます。

介護サービス事業特別会計予算 1,652万4,000円を追加補正

【主なもの】

介護ロボット導入支援事業費補助金を活用

介護ロボット見守り支援システムを整備

介護老人福祉施設費

特別養護老人ホームに、介護ロボット見守り支援システムを整備します。
(見守りセンサー 50台・カメラ20台・携帯端末 4台など)



概要と導入メリット

- 概要 敷布団等の下にセンサーを敷き、寝返り・呼吸・心拍などを検出
睡眠・目覚め・起き上がり・ベッドからの離床などをリアルタイムで携帯端末に表示するシステム
- メリット ①携帯端末で場所を選ばずに利用者の状態を確認できる
→異常検知した際に速やかに職員が駆けつけることができる
- ②睡眠状態の確認ができる
→利用者の睡眠を妨げないよう、目が覚めているときにケアができる
- ③夜間に3回行っている職員による定期巡回を減らすことができる
→職員の負担軽減

※自治体DX … デジタル技術やAI、データ等を活用し、住民の利便性を向上させるとともに、業務効率化を図り、行政サービスの更なる向上につなげる取組。

第4回 定例会

議案審議

12月5日～12月8日開催

物価高騰対 子育て世

一般会計予算 **3億1,252万4,000円**を追加補正

(主なもの)

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用

低所得世帯への支援給付金

社会福祉総務費

物価高騰により影響を受けている町内に住所がある低所得世帯に対し、1世帯あたり7万円を支給します。

子育て世帯への支援給付金

児童措置費

物価高騰により影響を受けている町内に住所がある18歳以下の子どもがいる世帯に対し、子ども1人あたり3万円を支給します。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金・学校保健特別対策事業費補助金を活用

小中学校にスポットエアコンを設置

学校管理費

令和6年度以降に小学校・中学校に設置予定の空調設備の工事完了までの間に使用するスポットエアコン(小学校11台・中学校6台)を購入します。

問 菅 敏範 議員
空調設備が完備された後の用途は。

答 井上学校教育課長
使用頻度が低く、空調設備を設置しない教室で使用することを考えている。



麦・大豆生産技術向上事業補助金を活用

麦・大豆の生産基盤を強化

麦・大豆生産技術向上事業

麦や大豆の安定した供給量と品質を確保するため、営農技術や機械の導入等を支援します。

魅力あるまちづくり推進基金積立金を活用

ふるさと納税返礼品経費

ふるさと応援推進事業

ふるさと納税の申込みが当初予算を上回る見込みのため、返礼品等の経費の不足分を増額補正します。

起業経費の一部を補助

起業家等支援事業

新規申請が見込まれるため、増額補正します。

事業概要

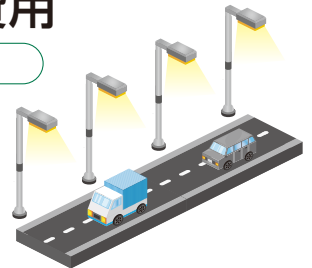
- 町内で新たに事業を行う場合や既存事業者が新規事業を行う場合の経費の一部を補助。
- 空き店舗を利用した場合には取得・賃貸に係る経費の一部も助成。



街灯の修繕費用

街灯維持管理費

市街地の街灯の故障が相次いでいるため、新たに10基分の修繕費用を増額補正します。



一般質問

7名の議員が8項目について質問

町民の声を町政に届ける

◆ 一般質問とは ◆

一般質問は、町の事務や事業に関して質問できる大事な議員活動の場です。年4回の定例会に行い、臨時会ではできません。

・ 質問時間は30分

大樹町議会では、議員が質問できる時間は一問につき30分以内です。答弁に制限時間はありません。

・ 一問一答方式

議員と町長が対面して、一つ質問をして、一つ回答をします。

・ 事前通告

質問したい議員は、前もって質問内容を記した「事前通告書」を提出しなければなりません。

・ 登壇順（質問順）

原則として、通告書の提出順に質問します。

西山 弘志 議員 …………… P5

- ◎合葬墓（合同納骨塚）の整備について
- ◎無縁墓の対策について

寺嶋 誠一 議員 …………… P5

- ◎宇宙のまちづくり（HOSPOの整備）について

播間 章浩 議員 …………… P6

- ◎大樹町まちづくり会社の設立について

西田 輝樹 議員 …………… P6

- ◎脱炭素社会の実現について

志民 和義 議員 …………… P7

- ◎文化協会の育成強化について

辻本 正雄 議員 …………… P7

- ◎健康増進室の利用について

菅 敏範 議員 …………… P8

- ◎日高山脈襟裳国定公園の国立公園化について



一般質問のページに掲載している二次元バーコードから、議員ごとの議会中継をご覧ください。



西山 弘志 議員

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



質問

答

合葬墓は町にとって重要な施設では

必要性は一定程度あると認識している

Q1 合葬墓(合同納骨塚)の整備について

質問 近年、核家族化や過疎化等が進み、個人の価値観の多様化等を背景にお墓を取り巻く環境が大きく変化している。合葬墓は町にとって重要な施設と考えるが。

答 (黒川町長) 管内3市町で合葬墓を整備。一人世帯も増えており、お墓の管理や経済的にも合葬墓の必要性は一定程度あると認識している。

質問 町内のニーズを把握するためのアンケート調査を実施しては。

答 (黒川町長) 合葬墓に関するアンケート調査は必要と認識しているが、管内の状況も踏まえタイミングを見計らう。

質問 第6期総合計画に合葬墓の整備を明記する考えは。

答 (黒川町長) 素案の段階であるが『合葬墓については検討する。』と明記している。

Q2 無縁墓の対策について

質問 墓園の管理状況、取り扱いについて。

答 (黒川町長) 令和3年度に調査した大樹、開進尾田墓園の3か所38区画の無縁墓では、令和5年10月末現在で、更地11区画を除く27区画に立て看板を設置し、14件の使用者から連絡があり変更手続きを行った。

質問 縁故者が確認できない場合は。

答 (黒川町長) 立て看板の設置に一定の効果があったことから、残り13区画も引き続き確認を行いながら、今後の対応を検討する。



寺嶋 誠一 議員

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



質問

答

宇宙特区の構想について

国家戦略特区として宇宙特区の必要性を協議検討する

Q1 宇宙のまちづくり(HospoG整備)について

質問 昨年10月の町民アンケートの結果、北海道スペースポート構想の推進が重要度のワースト1になったのは、町民への説明が不十分だったためでは。

答 (黒川町長) この結果に至った一因は、北海道スペースポートの動きが本格化するのと同時にコロナ禍となり、説明会や講演会が行えない中で、メディアによる報道が先行し、直接町民に説明する機会が不足していたためと考える。

質問 宇宙特区の構想について。

答 (黒川町長) 現時点で宇宙特区の具体的な構想はないが、北海道の特区担当者や協議している。今後の企業誘致や北海道スペースポートの拡張整備、運営に関して、規制・制度の緩和や税制面の優遇を行う規制改革の必要性を感じており、国家戦略特区として宇宙特区の必要性を協議検討する。

質問 LCC-2射場整備に向け、町民の理解、計画地周辺の住民等への説明について。

答 (黒川町長) LCC-2射場の整備には、現在進めているLCC-1射場を確実に整備し、人工衛星を搭載したロケットを打ち上げる実績を作ることが必要不可欠で、これまで以上に国の支援が必要。スペースポートの整備の必要性や位置付けも明確になってきているので、その状況を適切に判断しながら射場の整備を検討する。

また、町民限定イベント「たいき宇宙デー」のよう機会を継続して実施するとともに、毎月発行しているニュースレターにより動向をお知らせし、町民への理解を深め、計画地周辺の住民等には、整備計画などの資料が出来次第説明する。



播間 章浩 議員

Q1 大樹町まちづくり会社の設立について

質問 町の今後の経済発展・商工業活性化のためには、官民が連携しながら、柔軟にスピード感を持ったまちづくり会社の設立が必要と考えるが。

答 (黒川町長) 官民連携によるまちづくり会社を設立し、民間のノウハウを活かしながら地域課題を解決していくための有効な手法の一つと認識。

質問 議会で行政視察をした二セコ町では、株式会社二セコまちを設立し、街区の整備、住宅分譲、高齢者賃貸住宅の建設など、官民が連携して住宅のミスマッチ解消を進めている。その取組について町長の考えは。

答 (黒川町長) 住宅問題など効果的な取組をしており、特に高齢者が賃貸住宅に移り、子育て世代がその一軒家を活用することは参考になる。

質問 町と地元事業者による共同のまちづくりが必要では。

答 (黒川町長) 地元の事業者が力を合わせ、まちづくり会社を作ることが理想。

質問 スペースポートの整備以外にも、まちづくりに対して企業版ふるさと納税を活用できれば、まちづくりが加速するのでは。

答 (黒川町長) 現在ある企業版ふるさと納税は、地域再生計画によって宇宙以外にも、観光、その他まちづくり分野に活用を広げることが可能。

質問 官民連携によって、町内の空き店舗の活用や立ち消えとなった高齢者共同住宅、不足している宿泊施設の建設や企業誘致の用地確保などが柔軟性とスピードを増して進んでいくのでは。

答 (黒川町長) 民間との連携で解決できる分野はぜひやっていきたい。

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



西田 輝樹 議員

Q1 脱炭素社会の実現について

質問 町長としての脱炭素社会に対する基本的認識について。

答 (黒川町長) 暮らしの中で排出される二酸化炭素は、地球温暖化を招き、気候変動を起こすとともに生態系に多大な影響を与えている。自然豊かな環境を次世代に引継ぐためにも、町内における二酸化炭素の排出削減をより一層促進させていく。

質問 この1年間の脱炭素事業の取組について。

答 (黒川町長) 本年7月、南十勝複合事務組合の火葬場で、民間企業が家畜排せつ物由来のバイオメタンガスを火葬炉の燃料に活用する燃焼試験を行うなど、地産地消の観点から地域資源の有効活用に向けて検討している。

質問 これからの事業の取組について。

答 (黒川町長) 家庭での取組支援では、一般廃棄物を削減していくことが二酸化炭素の排出削減につながるため、家庭における生ごみの減量化を図る町独自の補助制度を検討する。また、再生可能エネルギーの導入や二酸化炭素排出削減に向けた事業を実施するために国や北海道などの補助制度の情報収集を図る。

質問 推進協議会や行政組織の新設について。

答 (黒川町長) 昨年11月、再生可能エネルギー導入計画の策定作業に合わせ、町内の関係団体や事業所、役員職員で構成する大樹町ゼロカーボン推進協議会を立ち上げた。行政組織の新設は、今後、新事業に取り組み場合に考え、今のところ12月採用の地域プロジェクトマネージャーを活用する。

質問 脱炭素社会の実現について

答 可能なところから取り組んでいく

質問 まちづくり会社の設立について

答 設立、活用に向けて検討したい



志民 和義 議員

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



質問

答

文化協会の育成に指導者の役割は大きい

指導者の養成・資質向上に取り組む

Q1 文化協会の育成強化について

質問 町内の文化協会は長年活発な活動を行ってきた。しかし、近年の高齢化に伴い、文化活動に参加する住民が少なくなっている。過去10年間の文化協会加盟団体の推移は。

答 (沼田教育長) 過去10年間の推移は、平成26年33団体、平成27年29団体、平成28年30団体、平成29年27団体、平成30年26団体、令和元年24団体、令和2年21団体、令和3年19団体、令和4年17団体、令和5年14団体、平成26年から新規加盟1団体、休会4団体、脱会16団体。休会・脱会の理由は会員の減少で団体の維持運営が困難になったため。

質問 文化協会の育成に指導者の役割は大きい。指導者の養成をどのように考えているか。

答 (沼田教育長) 指導者となり得る地域人材の発掘・養成が必要。さまざまな社会教育・文化活動で、特に青年層を中心に自主的な活動を促すように必要に応じて指導・助言している。今後の支援は、各種研修会等への参加を進め、指導者の養成、資質向上に取り組む。

質問 団体意識が薄れている中で自主的なイベントの企画・サークル活動も行われてきている。もう少し補助制度をPRしては。

答 (沼田教育長) 広報紙やホームページなどで積極的に周知する。

質問 文化芸術基本法に基づき、市町村は文化芸術推進基本計画を立てる努力義務があるが、計画を立てる考えは。

答 (沼田教育長) 他町村の状況を調査して検討する。



辻本 正雄 議員

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



質問

答

健康増進室を積極的に周知しては

広報紙などで積極的にPRする

Q1 健康増進室の利用について

質問 町では、高齢者保健福祉推進センターらしいの健康増進室にフィットネス機器を設置し、健康維持増進を図っているが、コロナ禍以前と現在の利用者数の変化は。

答 (黒川町長) 令和元年度は1559人、コロナの影響があった令和2年度は1245人、令和3年度は1129人に減少したが、令和4年度は1317人に増加し、令和5年度も同等数で推移している。

質問 利用者の目標数値の設定は。

答 (瀬尾保健福祉課参事) 目標数値は設定していないが、年間70〜80人の実利用者数を維持したい。

質問 最近よくウォーキングやジョギングをしている方を見るが、郊外では熊の出没、冬期間の道路状況で運動の機会が減る。運動は生活習慣予防、認知症予防にもつながる。施設の利用を知らない人もいるので積極的に周知しては。

答 (黒川町長) 夜間も開設しているので広報紙などで積極的にPRする。

質問 健康増進室の名称を幅広い年代に親しまれるように変更しては。

答 (黒川町長) 若い人もイメージしやすい名称を検討する。

質問 古い機器が多いので、新しく更新することで利用者が増えるのでは。

答 (黒川町長) 古い機器の更新は予算の範囲の中で検討する。

質問 運動後にシャワーなどがあると便利。第6期総合計画で健康増進室と公衆浴場の併設を検討しては。

答 (黒川町長) 公衆浴場など老朽化した公共施設がさまざまある。長期計画の中で検討する。



菅 敏範 議員

記載内容は
要約しています。
詳細は議会中継を
ご覧ください。



国立公園化での 観光客誘致の 取組は

質問

答

体験型・滞在型の
観光商品開発に取り組む

Q1 日高山脈襟裳国定公園の国立公園化について

質問 令和6年に国立公園に指定される見通しで、関係市町村は新たな観光客誘致の検討を進めているが、保護や利用に対する町の考えは。

答 (黒川町長) 日高山脈は原生的な自然環境が多く、シマフクロウやクマタカ等が生息し、希少植物の生育地でもあり、適正な保護が必要。一方で自然体験の場として利用促進を図ることも必要と考えている。

質問 新たな観光客誘致に既存の観光資源をどう関連付けていくのか。

答 (黒川町長) 観光地として注目度が高まるので、本町の特徴である宇宙を基軸に、自然やアウトドアを活かした体験型・滞在型の観光商品の開発に取り組む。

質問 登山者等に対する環境整備の考えは。

答 (黒川町長) 登山者の増加は予想されるが、本町側からの登山道はない状況。適切な情報発信や安全対策が必要と考えているが、登山道の整備は現時点で考えていない。

質問 名称や日高山脈の魅力発信で、関係市町村との連携は。

答 (黒川町長) 十勝圏活性化推進期成会で「十勝」の名前を加えるよう国へ要望し、6市町村で構成する十勝・日高山脈観光連携協議会では、パンフレットやPR動画の作成、遊覧フライトツアー等で日高山脈の魅力を発信している。

質問 観光協会や商工会等の関係機関との協議はどのように進めるか。

答 (黒川町長) これから観光協会や商工会と、国立公園とタイアップした商品開発や情報発信など協議を進める。

YouTubeで議会中継をご覧いただけます！

本会議や予算・決算審査特別委員会はライブ中継しています。ライブ中継を見られない場合でも、録画中継をご覧いただけます。スマートフォンやタブレット、パソコンなどで気軽に議会を傍聴できますので、ぜひご利用ください。大樹町議会チャンネルをチャンネル登録すると、ライブ中継や録画中継が公開される際に通知を受け取ることができます。

大樹町議会
チャンネル



次の定例会は 3月です

ぜひ気軽に傍聴にお越しください

日程は町ホームページで
お知らせします

詳細は議会事務局へお問い合わせください

TEL 6-5035

請願・陳情は どなたでもできます

議会は、住民の代表機関として、民意を広く行政に反映させるため、国や町の事務などに関する請願・陳情を処理することとなっています。

請願とは、憲法に規定された国民の権利として公の機関に対し、要望する行為で、紹介議員が必要となります。陳情も同様に扱われますが、紹介議員は必要ありません。

※請願書・陳情書の審議は、各定例会の前に開催される議会運営委員会までに受け付けたものになります。それ以降に受け付けたものは、次の定例会で審議されますのでご了承ください。

第4回
臨時会

議案審議

10月11日開催

補正予算3件を審議!!

行政報告に対する



質疑と答弁



問 安田 清之 議員

北海道教育委員会への要請活動の具体的な内容は。

答 沼田教育長

大樹高等学校への教員加配とエアコン整備を要請した。

要請に対する道教委の回答

- ・教員加配…全道的な配置を考えるなかで検討したい。
- ・エアコン整備…各地から要望を受けているので国への要望も含め検討したい。



一般会計予算 **2,808万4,000円** を追加補正



新たな宇宙観光コンテンツの企画開発

宇宙のまちづくり推進事業 2,100万円を増額



観光庁の補助を受け、宇宙観光コンテンツ造成事業を実施します。

事業概要 JAXAや宇宙ベンチャー企業等と連携した「魅せる」観光コンテンツ

①宇宙交流センターSORAでロケット打上を発射管制と宇宙飛行士の役割で体験

- 高画質・高音質のロケット発射を疑似体験
- VRゴーグルによる360度動画で宇宙飛行士を疑似体験

②宇宙ファン憧れのJAXA等が有する宇宙関連施設を活用した体験

- 熱気球による日の出観察や小型飛行機遊覧飛行による大空周遊
- 星空・宇宙観察やロケット型スノーラフティング
- JAXA大気球格納庫を屋外巨大スクリーンとした没入型映像体験



実施内容	契約先	委託料
観光コンテンツの造成 備品の購入や設備の導入	*公募型プロポーザルにより選定	2,000万円
名産品・土産品の開発 イベントプロモーション	大樹町商工会・大樹町観光協会	100万円

小中学校の空調設備実施設計

学校管理費 小中学校 計708万4,000円を増額



小学校・中学校に空調設備を設置するための設計費用を増額補正します。

設置箇所

普通教室（特別支援学級含む）、
使用頻度の高い特別教室、職員室 など

問 吉岡 信弘 議員

設置工事はいつ頃終わる予定か。

答 井上学校教育課長

本体や部品の供給の関係で明言できないが、早急に業者に依頼したい。

して — 委員会活動報告 —

掲載しています。

行政視察

総務常任委員会 | 津波避難施設の整備について

(9/20~21)

調査目的

道内唯一の津波避難施設を調査し、今後の整備に向けた検討を行う

◆野付半島災害時避難施設（別海町）

概要 … 避難対象者人数 164人
全体面積 238.26㎡
床までの高さ 6.6m ※浸水想定2.9m



構造 … ①津波の波力を受けにくく、漂流物による衝撃リスクを軽減させる大スパン架構、高強度の鉄筋コンクリート造
②避難者の安全を考慮した無落雪屋根
③外部照明は太陽光による蓄電池式照明
④内部照明は非常用照明（停電時は備蓄のガス発電機を接続して内部照明とコンセントが使用可能）

管理方法 … 点検や清掃、草刈りや除排雪等を業務委託

使用方法 … 平常時は避難スペースの通路部を展望台として利用



別海町役場での概要説明

まとめ

- ・津波避難施設には、手すりをつけ、段差の低い階段やスロープにすること。雪による避難障害対策では、屋根と側面シート等を設置すること等の対策が必要。
- ・施設整備を進める場合は、地域住民の理解を得ること。平常時の活用方法の検討も必要。
- ・施設管理も地域防災の観点から、地域の理解と協力が得られるよう協議し、自助・共助・公助ができる体制の整備が必要。

◆知人急傾斜地管理通路（釧路市）

概要 … 階段段数 121段 高低差 約8m
急傾斜地施設の維持管理用通路と災害時避難路が用途



構造 … ①屋根側面はアーチ形でアクリル樹脂製
②通路内照明の電源としてソーラーパネルを複数設置

経済常任委員会 | 官民連携による持続可能なまちづくりについて

(10/16~17)

調査目的

官民連携による持続可能なまちづくりの取組について調査・検討する

◆ニセコ町役場・(株)ニセコまち(ニセコ町)

■ニセコ町の概要

- ・「まちづくり基本条例」を制定し、町民一人ひとりが自ら考え行動する「真の住民自治」を目指す。民間採用の町職員も多く、知識と経験を活かした行政運営を行う。
- ・環境モデル都市に選定され、ニセコ町気候非常事態宣言では2050年までにCO₂排出量実質ゼロを目指すことを表明。

■(株)ニセコまち設立の経緯

- ・2018年に慢性的住宅不足の緩和のため、SDGsの視点で形成。
- ・市街地近隣の耕作放棄地と町有地を活用し、環境に配慮した持続可能な新しい街区「ニセコミライ」の整備を進めている。
- ・役場関係者や町内事業者、外部の専門家が協力して設立し「第二の役場」として官民連携により事業を進めている。

■ニセコミライの事業概要

- ・8つのコンセプトを基に分譲マンション・賃貸住宅を建設。
 - ①人口増加圧力への対応
 - ②適度な人口密度の確保
 - ③緑のインフラの整備
 - ④超省エネルギーの建物
 - ⑤再エネ・地域熱供給の活用
 - ⑥集合型駐車場の整備
 - ⑦既存の地形や植生を生かす
 - ⑧活発な人的、社会的な交流



持続可能なまちづくりを目指す(株)ニセコまち

まとめ

- ・ニセコ町は、まちづくりの主体は町民と考え、気軽に町長や職員と懇談できる議論の場が設けられており、環境への意識が高い。当町も住宅の省エネ改修補助制度の拡充を検討すべき。
- ・ニセコミライは、官民連携によりスピード感があり、自由な発想や柔軟な対応ができています。当町も今後は、企業の誘致や雇用の促進等のために、官民連携の新たなまちづくり会社の設立や知識や経験のある職員の採用の検討も必要。

暮らしやすい町をめざ

所管事務調査

※内容を要約して

総務常任委員会 | 公園の整備・管理状況について

(8/18)

調査目的

公園の管理と整備の状況を把握するとともに、近隣町村の新設公園を視察調査し、今後の公園整備と管理の方向性を探る

■町内の既存公園の遊具設置状況

- ・遊具の老朽化が進み、危険な遊具は更新せずに撤去されている。
- ・公園の魅力が薄れ、利用者が減少する負のスパイラルが問題。

■遊具の管理状況

- ・担当職員による点検(目視・触診)が行われている。
- ・中央運動公園にあるコンビネーション遊具は、点検に専門的な知識と経験が必要なため、業者へ委託し経費が発生。経年劣化により更新の検討時期を迎えている。

■近隣町村の新設公園の遊具設置状況及び室内遊具施設の検証

- ・中札内村と更別村の新設公園を視察。どちらも親水機能があり、子どもから大人まで安心安全に遊ぶことができる構造。
- ・更別村では、村内の飲食店の宣伝看板があり、二次的な効果が生まれるよう工夫されている。

■町民からの要望

- ・コンビネーション遊具とともに室内遊具施設の整備を要望する声が多い。一年を通じて子どもが遊べる室内遊具施設は道内でも珍しく、整備により集客等の二次的な効果が期待できる。
- ・子育て世代は、子育てのために公園が必要であり、数年後の建設まで待てないため、近隣町村の公園を利用している。
- ・子育て世代を中心に、高齢者にも目を向けた公園整備が重要。



道の駅の中にある室内遊具施設(中札内村)



大型遊具がある「さらべつプレイランド」(更別村)

まとめ

- ・町内の公園は、老朽化した遊具の撤去により魅力がなくなり、利用者を見かけない状況。
- ・今後策定される「みどりの基本計画」により公園の統合や再整備が進み、魅力ある公園や室内遊具施設を整備することで、街中店舗の利用など二次的効果が期待される。
- ・公園の再整備は、アンケート調査等で、様々な年齢層の意見を反映させることが望ましい。

経済常任委員会 | 観光客誘致のための施設の現況と在り方について

(8/28, 11/6)

調査目的

宇宙交流センターSORAと晩成温泉周辺施設の調査を行い、観光客誘致のための施設の現況と在り方の検討課題を明らかにする

■宇宙交流センターSORA

- ・見学対応スタッフは4人シフト体制だが、今後旅行商品として進めるための人員の不足やガイドの育成が課題。
- ・施設では、他のイベント時に使用した模型やパネルを展示しているため、統一感がなく内容も難しいものがある。

■晩成温泉

- ・「海の見える温泉」が特色だが、浴場のガラスが経年劣化で曇り、壮大な海を眺めることができない状況。
- ・指定管理委託業者から、物価や保守点検費の高騰による入湯税の減額や施設の老朽化に伴う修繕、津波対策、町民への利用促進のため無料回数券の発行などの要望があった。

■晩成の宿

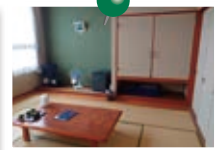
- ・施設の老朽化が進み、現状としては利用しにくい。
- ・足の不自由な方や高齢者のために1階に客室が必要。
- ・水回りの整備や客室へのエアコン・トイレの設置等が課題。

■晩成温泉キャンプ場

- ・熊対策で爆竹の準備や利用者への注意喚起等を行っている。安全確保の対策が急務。
- ・PR方法や冬期間の集客につなげる取組を模索中。



SORAの展示品



晩成の宿の客室

まとめ

- 【SORA】ガイドの増員と育成が課題。展示品は万人受けするものにするよう検討すべき。
- 【晩成温泉】目先の修繕での長寿命化だけでなく、観光地としてどうしていくか建替えや移転を含む長期的な検討が必要。
- 【晩成の宿】客室へのエアコン・トイレの設置や1階への客室増設など、利用者の利便性の向上のために検討が必要。
- 【キャンプ場】熊出没等で閉鎖する期間もあり、安全のため柵の設置を検討すべき。

— 委員会活動報告 —

広報広聴常任委員会 住民懇談会

大樹町漁協女性部 浜大樹支部・旭浜支部の皆さんと 『漁業の将来に対する不安・自然災害対策などについて』懇談

11月20日、21日の2日間、漁協女性部の両支部の皆さんとの懇談会を開催しました。浜大樹支部からは6名、旭浜支部からは7名の方々に参加いただき、フリーテーマで町の課題などの意見・要望をいただきました。懇談の内容を抜粋してお知らせします。

■漁業の将来に対する不安について

①不漁・跡継ぎ不足

- ・不漁のため休漁期に農家の手伝いや出稼ぎ等に行っている。
- ・跡継ぎが少ない。若い人はいても漁師をやらない。
- ・ハローワークで人を募集しているがギリギリの人数。
- ・冬や漁がないときの働く場を確保してほしい。
- ・漁師でもできる養殖等の仕事があれば良い。

■自然災害対策について

①津波避難施設

- ・高齢者が多く、車で避難できない人も。あったら安心。
- ・階段だと介助なしでは上がれない高齢者がいる。
- ・階段ではなくスロープにするなどの工夫をしてほしい。

②避難訓練

- ・町の避難訓練は危機感がない。スムーズすぎる。
- ・平日仕事に行く人も参加できるように、土日に実施しては。

③避難路（町道）

- ・浜大樹行政区会館からI S Tまでの町道は何を基準に修繕したのか。余計に凸凹が酷くなった。除雪も酷く、傾斜もあり車が傾き危険。避難路でもあり、スクールバスも通る道のため至急全面改修してほしい。

④除雪問題

- ・吹き溜まりが酷く、道が塞がることもある。除雪が遅いので早くしてもらおうか、雪除けの設置などの対策をしてほしい。

⑤無線放送

- ・天候に関係なく聞こえにくい。途中で切れることもある。

■子どもの集まる場所等について

①学童保育所・図書館

- ・早く利用しやすい施設の整備を。学校の近くが理想。

②公園・中高生の集まる場所

- ・子どもの遊び場がない。家の前や町外の公園まで行って遊ばせているので、町内に公園を作ってほしい。
- ・中高生の集まる場所がないので作ってほしい。

懇談内容は議会と町で共有しています。

いただいた意見や要望は、議員の一般質問や常任委員会の所管事務調査等の議会活動に活かし、より地域課題に即した議会運営を目指します。



浜大樹支部（11/20）



旭浜支部（11/21）

■港の環境衛生について

①ゴミ問題

- ・指定ゴミ袋以外の袋に詰められたゴミや人目につかない場所にゴミが多い。
- ・町外から来た釣り客やキャンプ客等がゴミを捨てていくことが多い。
- ・バッテリーなどの不法投棄がある。

②トイレ清掃

- ・便器が小さく、はみ出て汚れているので、便器を大きくする等の対策をしてほしい。
- ・冬期間に水が出ないので掃除が大変。水洗は電気代がかかるので難しいと思うが改善してほしい。

■その他

①町道と私有地の境界

- ・港に行けると思った車が行き止まりに気付かず自宅私有地を通り抜けするため危険。「この先行き止まり」「通り抜け禁止」などの看板を設置してほしい。

②アライグマ

- ・増えてきており危険。子どもが遊んでいるときに糞を触る心配もある。

③公営住宅

- ・古くて湿気が酷く、床も傷んでいる。

高校生議会

10月19日 役場3階議場にて開催

大樹高校の3年生23名が8班に分かれ、高校生議員として町長や教育長に対して一般質問を行いました。



齊藤 徹 議長

議長挨拶

『大樹町では、平成24年から大樹小学校の児童による子ども議会を開催し、平成27年から高校生議会を開催している。令和3年から2年間は新型コロナウイルス感染症の拡大により、中止されていたが、こうして高校生議会が再開できることを大変嬉しく思う。』

一般質問では、高校生ならではの目線を大切に、普段感じていることを率直に議論し、様々な課題について議会も一緒に考えていきたいと思う。

高校生の皆さんは選挙権を得る年齢となるので、高校生議会を通じて、政治や議会活動に関心を高めてほしい。

高校生議会が実りあるものとなることを祈念する。』

開催経過報告

『高校生議会は、町政全般に関心を持つことで、地域への理解を深め、地域のより良い未来について関心を高めることを目的としています。』

総合的探究の時間で行った地域探究活動では、大樹町の課題を見つけ、地域の方々と協力しながら、私たちの考えや思いを形にし、課題解決に向き合ってきました。』

それぞれの視点から意見交換をし、新たに、そして改めて大樹町の魅力や町政の役割、身の回りの課題について考える非常に良い経験をする事ができました。』

本日はその成果を町に還元できる貴重な機会と考え、真剣に議論し、政治参加を経験したいと思います。』



上田 瑞姫 議員

1班

『大樹町内で若者が気軽に集まることのできる場所について』

道見 篤 議員・播間 悠晟 議員・藤原 秀真 議員



問 大樹町で集まる場所として、道の駅の休憩所があるが、若者の理想と離れている。理想は周りが気にならずゲームや話を長時間できる場所だが、作る考えは、若者が住み続けたいと思う町をどのように作ろうと考えているか。

答 現在、気軽に集まることのできる場所は道の駅が考えられるが、新たな集まる場所の必要性について、道の駅の魅力向上や機能充実、空家・空き店舗等の有効活用も含めて検討していきたい。未来共創会議や町長と語る会等で意見をお聞きし、魅力あるまちづくりを進めていきたい。

2班

『中高生が集まる交流場所について』

上野 千夏 議員・木戸 稚捺 議員
大木 愛菜 議員・加藤 鈴音 議員



問 新図書館は、いつ、どんな図書館を建てる予定か。カフェを導入することで、利用客の増加と多世代交流の場所となる。建設場所は街中心部とし、PC設置やWi-Fi環境の完備により、中高生のニーズを満たすことができるのでは。

答 図書館の在り方は、総合計画や生涯学習中期計画策定を踏まえて、改築を含め検討する。カフェの導入は、食品衛生責任者の配置や営業許可を得るための設備整備等の課題が多く、慎重な議論が必要。いただいた意見も含め、関係委員等の意見もいただき検討する。

※内容を要約して掲載しています。

3班

『大樹町の遊び場の建設について』

荒城 栞大 議員・杉村 柊太 議員・加藤 拓磨 議員



問 大樹町は、外で遊べる場所が多い反面、室内は少なく、天候に左右される日が多いので、保育園児から小学校低学年までが遊べる室内施設が必要だと考える。新しい施設を作るのが難しい場合、使われていない保育園等を再利用するのはどうか。

答 商工会が町の補助金を活用し、道の駅1階に遊び場を設置する。11月中にすべての遊具が揃う予定。南保育園など、閉館している施設に遊び場を設置する場合、光熱水費や管理人の人件費など、維持管理費用が生じる。既存施設への設置で経費を削減できるので、検討していきたい。

4班

『旧B&G海洋センタープールの再利用について』

鈴木 瑠渚 議員・小川 瑚乃花 議員



問 旧B&G海洋センタープールを活用し、魚の養殖に取り組んでは。近年、大樹町では漁獲量が減少し、漁組ではサクラマスの養殖を試験的に実施したが、赤潮による被害を受けた。よって、影響を受けないプールでの養殖が適しているのでは。

答 旧プールは、老朽化が著しく建物を支えている鉄骨本体の耐久性もないため、危険であり再利用は難しい。赤潮や台風などの影響を受けない陸上養殖の取組については、今後も関係機関とも協議し、あらゆる可能性を探っていきたい。

5班

『大樹町の特産物を広め、町を知ってもらうための考えについて』

廣瀬 芹菜 議員・千葉 弥生 議員



問 特産物の認知度が低いので、利用者が少ない道の駅の改装を提案する。観光客の目に留まるよう、外装は観光客参加型のウォールアートに、内装は商品の陳列方法の工夫やPOP、生産者の顔写真やコメントを設置しては。

答 観光客参加型のウォールアートは、注目される企画だと思うので、実現が可能か調べる。陳列方法の工夫やPOP、生産者の顔写真やコメントの設置は、運営団体側と調整したい。道の駅は町の観光拠点で重要な施設。足を運んでもらうための方策は、広く町民の声を取り入れて検討を進めたい。

6班

『大樹町の食の知名度を上げるための方法について』

上田 瑞姫 議員・鎌田 心菜 議員・松田 玲奈 議員



問 町の食の知名度を上げるため、ふるさと納税の返礼品を増やし、手に取ってもらう機会を増やしては。また、色々な町の特産物を使った食べ物を出店するイベントの開催やテレビ取材に応募して芸能人等に宣伝してもらうことで、幅広い世代に注目されるのでは。

答 町では新たに返礼品を増やす取組を進めている。観光協会と鯉のぼりイベントや各種まつりを開催し、大樹町の特産物を使った食べ物の販売等を行っている。イベント開催が活発になるよう、関係団体と連携しながらPRの面で支援する。テレビ取材は、公募があれば応募を検討する。

7班

『大樹町の道の安全性について』

星久保 友里亜 議員・濱名 佳奈 議員・木村 心寧 議員



問 大樹町の道を歩いて、危険箇所を調査した結果、歩道の段差が特に危険だった。実際につまづき転んだ話も聞いたので、段差をなくしては。また、街灯のない道が夜は暗くて危険。すべての街灯をLEDにし、お金を削減しつつ光量を増やしては。

答 歩道の重要な役割は、歩行者と車両を分離し、段差により車両の進入を防ぎ、歩行者の安全を確保すること。ただし高齢者や車いす使用者の安全の確保も重要。今後の道路整備で検討したい。LED化していない街灯は、修繕等の際に更新。必要に応じて街灯の設置も行う。

8班

『大樹町をPRするには
どうするべきか』

青木 悠斗 議員・村木 陸 議員・工藤 京輔 議員



問 町のスポーツ施設は多くの観客を入れてイベントや大会が開ける場所ではなく、老朽化も進んでいるので新築しては。町の景色の綺麗な場所のドライブコースマップの配布や、道の整備を実施しては。町のSNSは閲覧人数が少ないためタグを増やしては。

答 施設の建設は多額の費用が必要で、町財政やほかの施設を含めた優先度・緊急性を考慮して検討したい。ニーズに応じて、景色の綺麗な場所のドライブコース設定とPR、道の整備に努める。SNSのタグ設定は増やす。

高校生議会を終えて

『質問はこれからの大樹町を心配いただいたものが多く、大変思いやりがある内容だった。皆さんの意見を念頭に置き、これからのまちづくりに取り組んでいきたい。』

地域を知り、課題を見つけ、考えて行動することは、非常に大事であり、それを高校生の皆さんが取り組んでいることは非常に心強い。将来、社会で活躍する中で、この視点や行動は必ず役に立つと思う。

この経験を活かして、たくましく活躍してほしい。』



黒川 豊 町長

高校生の感想

- ・考えや思いを伝えられたので、今後活かしてほしい。
- ・町をより良くする気持ちや政治への関心が高まった。
- ・町の現状や課題を知ることができた。
- ・地域の発展のための力になることができたと思った。
- ・とても緊張したが良い経験になった。
- ・議会の難しさや大変さを知ることができた。
- ・意見を伝える難しさ、考える難しさを学んだ。
- ・町の発展のための案を直接話すことができ嬉しかった。

高校生議会に向けて

●一般質問の傍聴 6月8日、高校生23名が第2回定例会の一般質問を傍聴。

●サポート授業 議長と議員6名（広報広聴常任委員）が大樹高校を訪問。高校生議会に向けてのサポート授業を実施。

<第1回（8月22日）>

- ・議会や一般質問のルールを指導
- ・一般質問通告書の作成をアドバイス

<第2回（10月10日）>

- ・町長や教育長の答弁書をもとに、再質問のコツをアドバイス



※内容を要約して掲載しています。

一目でわかる 審議結果



第 4 回 臨時会			
令和5年度一般会計補正予算(第4号) 歳入歳出それぞれ2,808万4千円追加。	原案 可決	令和5年度下水道事業会計補正予算(第2号) 収益的支出を1万4千円追加。 資本的収入を637万円追加。 資本的支出を899万1千円追加。	原案 可決
令和5年度町立国民健康保険病院事業会計補正予算(第2号) 資本的収入を130万円追加。 資本的支出を130万6千円追加。	原案 可決		

第 4 回 定例会			
大樹町教育委員会委員の任命 委員に丹後 恵 氏を再任することに同意。	同意	町道路線の廃止	原案 可決
大樹町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の公布に伴う改正。	原案 可決	町道路線の認定 北海道スペースポートの整備に伴う道路延長や町営住宅寿団地の建設計画に伴う道路延長のため、町道路線を廃止・認定。	
大樹町職員の給与に関する条例の一部改正	原案 可決	令和5年度一般会計補正予算(第5号) 歳入歳出それぞれ2億3,543万9千円を追加。	原案 可決
大樹町長等の給与等に関する条例の一部改正		令和5年度介護保険特別会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ18万円を追加。	原案 可決
大樹町議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正 国家公務員の給与法の一部改正に伴う改正。		令和5年度介護サービス事業特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ1,652万4千円を追加。	原案 可決
大樹町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の改正に伴う改正。	原案 可決	令和5年度水道事業会計補正予算(第3号) 収益的支出を5千円追加。 資本的支出を6万2千円追加。	原案 可決
大樹町水道事業の設置等に関する条例の一部改正	原案 可決	令和5年度町立国民健康保険病院事業会計補正予算(第3号) 収益的収入・支出をそれぞれ7万8千円追加。 資本的収入・支出をそれぞれ5万2千円減額。	原案 可決
大樹町病院事業の設置等に関する条例の一部改正		令和5年度下水道事業会計補正予算(第3号) 収益的支出を2万8千円追加。 資本的支出を5万9千円追加。	原案 可決
大樹町下水道事業の設置等に関する条例の一部改正 地方自治法の一部を改正する法律の公布に伴う改正。		令和5年度一般会計補正予算(第6号) 歳入歳出それぞれ7,708万5千円を追加。	原案 可決
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 懲役・禁錮を廃止し、拘禁刑が創設されたことから、関係条例の整理に関する条例を制定。	原案 可決	大樹小学校、大樹中学校のクーラー設置に関する陳情 熱中症による子どもたちの事故を未然に防ぐため、全会一致で採択。	採択
権利の放棄 商工会が所有する大樹ショッピングセンターを生活協同組合コープさっぽろに譲渡したことで発生する大樹町に係る補助金返還金の権利を放棄。	原案 可決		

前回の議会日よりNo.194号の内容に一部誤りがありましたので訂正いたします。



5頁 表決の分かれた議案の表中
(誤) 辻本 正雄 → (正) 安田 清之 (敬称略)

広報広聴常任委員会



委員長 播間 章浩
副委員長 船戸 健二
委員 菅 敏範
委員 西山 弘志
委員 吉岡 信弘
委員 寺嶋 誠一

編集後記

今後10年間のまちづくりの基
本である「第6期総合計画」は持
続可能なまちづくり、誰一人取
り残さないを理念として策定に
向け審議が進められています。
総合計画には「まちづくりの
理念や方向性と将来像」「住民参
画・協働の総合指針」「計画的な
行財政運営の総合指針」を明ら
かにする役割があります。町民
と共に町の総合計画の推進を監
視・評価していきます。
さらに、町民のための広報活
動を目指しますのでご支援願
います。

委員 西山 弘志